

地域の皆さまへ

第37回 病院地域講演会のご報告

残暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、8月4日(土)に第37回 久留米リハビリテーション病院 地域講演会を開催致しました。

第一部は柴田院長より「生活習慣病が認知症をつくる」、第二部に、久留米東地域包括支援センターの小関 あゆみ氏より「認知症介護をしている家族について ～抱え込まない認知症介護～」と題して講話をして頂きました。内閣府の調査で認知症患者は、2025年に約700万人になると言われています。日頃の生活習慣から認知症を予防していく事が大切である事や認知症介護をしている家族の精神的負担や介護負担、また、介護者の認知症状に対するとまどいや混乱などを経て、受け入れるまでの心理的变化を学びました。介護は大変であり、知らず知らずに高齢者虐待を起している可能性もあります。介護は抱え込むのではなく、周りの方に相談しながら介護保険等のサービスを上手く利用し介護をしていく事が自宅介護のコツだと思います。

*相談機関としては、市役所・お近くの地域包括支援センター・かかりつけ医等があります。

また、講演会終了後にアンケートのご協力を頂き、ありがとうございました。集計結果を裏面に記載しておりますので、こちらも併せてご覧ください。



『生活習慣病が認知症をつくる』

久留米リハビリテーション病院 病院長 柴田 元

～講演中の様子～



『認知症介護をしている家族について』
～抱え込まない認知症介護～

久留米東地域包括支援センター
社会福祉士 小関 あゆみ氏



講話の合間に気分転換で、コグニサイズ体操です。



参加者の皆さまの声

- 今後も出来るだけ参加したい。
- ありがとうございました。
- 地域のつながりを深くする意味で大変意義のある講演会であると思います。
- いろんな心配を抱えながらも、楽しく生活していきたい。楽しいお話をお願いします。



次回の第38回講演会は、平成30年12月に開催予定です。

詳しい内容につきましては、回覧板でのご案内や病院内に掲示いたします。

地域の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。





アンケート集計結果

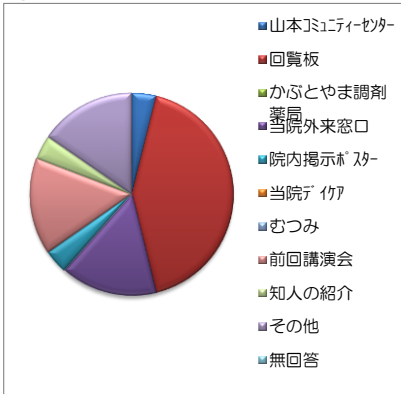
回答数 19名

<質問項目>

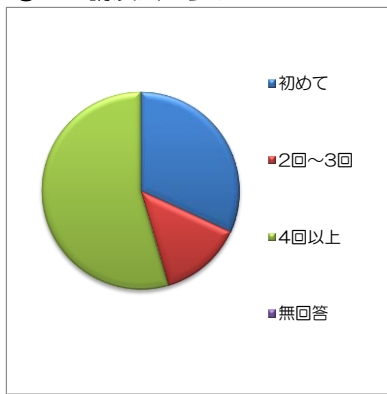
- ①当講演会をどこで知りましたか？
- ②当講演会の参加は何回目ですか？
- ③講演会の長さ(時間)はどうでしたか？
- ④院長講演の内容について
- ⑤「認知症介護をしている家族について」について



① 講演会をどこで知ったか



② 当講演会の参加



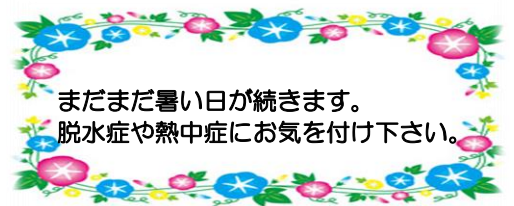
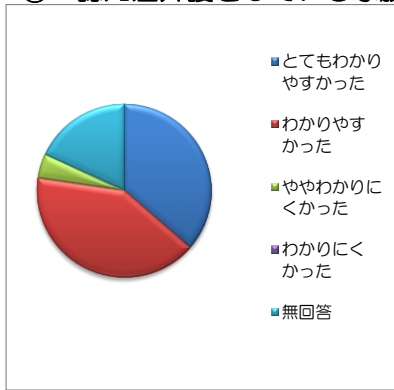
③ 講演会の長さ



④ 院長講演内容について



⑤ 「認知症介護をしている家族について」について



⑥ 講演会の内容は何が良いと思いますか？

(アンケートより抜粋)

- 生活習慣病の予防(食事の面から)
- 食べやすい食事の工夫
- おいしくご飯を食べるには
- 認知症の予防について(脳の活性化)
- 生活リハビリテーションについて
- 介護保険と医療保険について
- 膝や腰の痛みについて
- 肺炎の症状と予防法について
- 日々の生活の中で、やっておきたい介護予防体操
- 音楽療法について

